



勝利争闘ジェット三里塚! 粉砕革行調臨!

(0.5% 1.046円)

問題にならない 低額回答!

日刊 動労千葉

83. 4. 27 No. 1326

国鉄千葉動力車労働組合 千葉市要町二一八 (動力車会館) (鉄電)二九三五六 (公衆)〇四七二二七二〇七

83新賃金 本社交渉で当局を追及

83新賃金獲得の闘いは『日刊動労千葉』第一三二二号(四月二二日付)で明らかにした通り、大詰めの段階に突入しているが、四月二五日、国鉄本社において、第九回交渉が行われた。席上、当局側より次のような「有額回答」が行われた。

昭和五八年四月一日以降の基準内賃金を、一人平均一〇四六円(〇・五〇%)引き上げることとする。これに定期昇給分四五六〇円(二・一八%)を加えれば、五六〇六円(二・六八%)となる。

「職場規律」「合理化」を前提とする回答は認めない

団交は十四時から開催され、本社給与課・大内総括補佐より有額回答が行われた。これに対して、動労千葉は、次のような反論と問題点の指摘を行った。

- ① 〇・五%という賃金引き上げ回答は、組合員の生活実態、民間賃金の動向等、いずれから見ても承服できない低額回答である。
② この回答の「前提条件」として当局が出してきた「職場規律の確立」「合理化の推進」は認められなく。

むしろ人減しを中心とする合理化が運転保安の確立をはじめ、あらゆる面で組合員の労働実態を圧迫している。われわれは、この間の新賃金交渉でこの点を追及してきた。当局は、賃上げも含め、運転保安の確立と組合員の労働・生活実態にかかわる切実な要求にまともに応えることを要求する。

当局の主張

- ① これに対し当局側より、
② 組合側がポイント賃金要求を行っていることは承知しており、議論もしてきたところであるが、今回は現実問題として従来のベア方式で回答したので御了承願いたい。

- ③ 他公社との格差なしにもつてくるために、回答がおくれた。賃金については労使交渉で決定するものであるという立場は、堅持するが、社会的条件が整わなければ回答できないという厳しい状況についても理解してほしい。
④ 「前提条件」についても、そのような立場からのものであり、個々の内容については別途団体交渉で議論することであるが、実行の責任があると考えている。
⑤ 〇・五%については、低額回答であるとはいえ、他公社と同じであるということについて評価してほしい。現時点で出せるギリギリの内容である。

要求獲得へ向けて闘う

以上の内容について議論し、最終的に、動労千葉から「議論の内容も含め、今日の回答について持ち帰り検討するが、当局がこの回答に固執するならば、公労委の場も含め、あらゆる手段をもって要求獲得へ向けてたたかう」旨を通告して交渉を終った。

政府・自民党は国鉄攻勢を強めており、情勢は厳しいが、中江・北原選挙闘争勝利の力をもって低額回答打破、大巾賃金獲得へ、総力をあげてたたかいたい。

5.1メーデーに結集しよう 千葉県中央メーデー 五月一日、十時、千葉公園 集合 千葉運転区、九時三〇分 ※ 参加支部(新小岩、津田沼、幕張、千葉転、蘇我)。以上の他の支部は各地区メーデーに参加。